

謹賀新年、今年もどうか宜しく。実は新年草々の、この手紙から多忙な森さんへ依頼事項を述べるのはやや厚かましくて、気が進まないのですが止むを得ません。

まず暮れの25日でしたか、夜になって携帯電話でバグウォッシュ準備体制のその後の経過を報告して頂き有り難う。山田さんが事務局長とのことですが、彼も詰腹を切らされたのだと思います。この人は坂田教授の弟子で「場の理論」が専門ですので、会議の理論構成…実際には各sessionの日本人発表者の人選の折衝と内容の相談…を担当する積りでいた様ですが、止むを得ず事務局長担当を了解したのでしょうか。彼の事務処理能力については恐らく本人も予測困難だと思います。

今度の処置は次善の策ですが、私として懸念材料が二つ在ります。一つは組織委員長と事務局長の今後の連携の密度によりますが、委員長が相変わらず事務局長に任せ切りで従来と同様な海外出張を継続すれば、事態は余り改善されない恐れが残る事です。二つ目は、やや細かくなりますが、広島の現地委員会と東京事務局の連絡の詳細情報は委員長が握っている様子ですが、これが早期に事務局長にも十分伝達されないと、東京-広島間が何時までもギクシャクすることです。兎に角昨年私が見るに見兼ねて催促して10月28日に小沼、山田、立花、菅沼の4名で開いた事務局対策会議が第1回で、…これは私の過剰責任感から小沼、立花の広島行きの前に開いた物で、幸いに貴方と大塚さんの善意の介入で急遽広島行きが中止となり、私は危うく「蟻地獄」に嵌まるのを免れた訳ですが…、事務局対策会議はそれ以来多分1回も開かれていないと推測します。事務局体制は極めて貧困ですのでこの点を十分警戒する必要が在ります。尤も年末に貴方が伏見さんの事務所に来られて、募金委について本格的な発足開始を告げられたとリンクスの菅沼さんから聞いているので、この面は新年とともに大幅改善を見る事と思いますし、これが先ず打つべき第1の対策ですから事態はかなり急速に改善されると期待しています。

以上はバグウォッシュ体制の話で、これからが私の個人的な「お願い」です。新年草々忙しい貴方に、バグウォッシュ関連で更にお願ひするのは心苦しいのですが、他に事情を理解してくれる人が居ないので、やむを得ず「オンブにダッコ」で申し訳在りません。

具体的にはバグウォッシュの私の後任の出納責任者の問題です。伏見先生と小沼さんには12月23日に添付資料の趣旨で、健康上の理由で昨年末で責任者…形式上は経理委員長…委員は私と菅沼さんの2名一の辞任を申し入れました。現在詳細を知っている菅沼さんに依頼して12月31日付けで「引継ぎ書」を作成中で年初めに完成の予定です。現在借入れは、リンクスから40万円、原産から60万円で、口座の「出金・入金」項目は年末までに全部で15項目余りで、支出の総額が約42万円余り、預金残高は58万円足らずですので作成は比較的簡単です。しかし辞任申し入れの両先生からは全く連絡が在りません。恐らく対策が待ちか、成り行き任せ、という所と思います。

所がここに困った事態が生じました。貴方の根回しで多分今年の1月から募金委が発足すると思いますが、その募金趣意書に経理委員会の委員の個人名、募金申込書に振込先の銀行名と口座番号、出納責任者の個人名が印刷されています。私は、年末で辞任の予定です。ですのでこれを早急に、出来れば募金委の正式発足の前に、変更して貰う必要が在ります。さもないと実質上は無関係で、金銭上或いは法律上は何時までも私に責任が残るという、当方にとって甚だ困った状態が放置される事になります。組織委員長も、私を責任者に指名した伏見先生も多分これに気が付かないか、或いは成行き任せか、と判断されます。

出納責任者の変更は、菅沼さんの予備折衝の話では、銀行側としては相当手続きその他喧しい様で可なり日時が要るかも知れません。当面の対策としては、先ず事務局長との交替が考えられますが、今度の会議のような組織的に日本での経験が無く、内容も複雑で金額としては最大5000万円で相当な高額です。金銭問題はマクロの目だけでは不十分で、要所々々にミクロの目も必要です。収入の場所と支出の場所が滞っている点も問題になる恐れあります。学者の山田さんに色々な責任が重なるのは些か過酷です。その点では非とも日本での国際会議の裏方の経験が在って、事情に通じている信頼のおける補助者一場合により兼務でも良い一の緊密な援助が不可欠ではないか、と老婆心から推測します。さもないと事務局長も就任に二の足を踏むと思います。

この話は、結局募金委の具体的な体制固めの中で、交替者の人選から補助者の選択まで検討して頂くことが重要で、伏見、小沼の両先生では手に~~届~~えない問題です。そこで私の窮状も考慮して、森さんに是非善処をお願いしたいと言う次第です。説明が長くなりましたが、何とか宜しく申し上げます。

今度のバグウォッシュ問題で私は二つの経験をしました。一つは、学会のような曲がりなりにも既存の事務局体制のない、全くのボランティア組織の場合には、日本では事務局対応が全く貧困に終わる恐れがある事、もう一つは銀行が絡む金銭関係の責任ある役目を引受ける場合には十分覚悟して、決して単なる善意だけで判断してはならない事、です。実兄が金融に行詰まり死んだ時にも、担保として信用金庫に提出していた不動産の担保を解除し貰うのに可なり個人的に苦労した経験が在ります。この6月頃の私は、健康にも支障なく銀行関連にまで配慮する余裕が在りませんでした。この辺の甘さが私の弱点でしょう。

心電図の結果は如何ですか。私は昨秋以来体重が回復せず、年末の入院は幸い余り減少に至りませんでした。が、体重は一進一退で52kg以上にならず、体力不足で足腰が回復せず弱っています。精神的に何とか「ゆったり」したいのですが。

大塚さんは、手術は順調に済み正月は病院でしたが、間もなく退院の見込みで、電話の声は元気です。お互いさま、健康に対する注意が相当に必要な年頃になってきました。今年は国連NPT会議の年です、一層健康に注意しましょう。奥様にも宜しくお伝え下さい。

草々。